

おじいちゃん
からの
ひとこと

あのころはよかったよ。魚はいっぱいとれたし……。家の軒に下がっているニシンや、川の水で洗って食うカズノコなどは子供たちのおやつであったんだ。みんなで、魚のいっぱいといれる海にしなければならぬナア。
佐一郎さん (75歳)

おじいちゃん
どの
語り



山田 力也くん
(脳元小・6年)

今月の主な記事

- 木造建築日本一施設案内……………2
- 歴史がとりもつ縁上ノ国との交流深まる……………3
- 役場職員人事異動と……………4~6
- 星形ケビンオープン……………7
- 人馬一体馬力大会……………8
- 交通事故防止その対策は……………9
- 安藤物語……………10
- おしらせ……………11
- 健康への道・戸籍の窓……………12

「昔は、魚がいっぱいといれたもんだが、いまは全然ダメだなあ。」

「昔は、七十歳になるおじいちゃんの口くせです。若い時、漁師だったおじいちゃんは八戸や北海道に魚をとりに行っていたそうです。春にはシンを追って北海道へ、夏から秋にかけては八戸へイカ釣りに。家にはほこんでいなかったので。」

「ぼくが生まれてからのおじいちゃんは、家の仕事をしながらぼくたちのめんどうをみてくれるようになりましたが、いまでも船に乗って、ヤリイカをとりに行ったり、さし網をかけたりにいます。」

「きょうはダメじゃ」と、疲れた顔をするおじいちゃんの顔には、魚がたぐさんとれた昔のことが思い出されるのでしよう。

「魚がとれたときは、三三三三三と、きょうはどつたぞと、と、元気な声です。」

「魚釣りが大好きなぼくは、おじいちゃんに似ているのがある。」

漁師だった おじいちゃん



木造建築物では、日本一の高さを誇るあすなろホール(右手)と役場庁舎



あすなろホール

木造建築日本一

青森あすなろホール(市浦)

立派だネエ
高いナア...

視察団も連日來訪

高さ十九・四四のこの施設は、近代の木造建築物としては日本一の高さを誇り、特産ヒバ材がふんだんに使われています。

木のぬくもりが見直されつつある中で、「新時代の木造建築」として、いま注目を集め視察団が連日訪れています。

「青森あすなろホール(市浦)」と名付けられた同施設は、二階建てで、延べ面積八五四三平方メートル。総工費は一億七千九百三十四万円。施設の主

な機能は、文化的な心の交流広場となる「多目的ホール」のほか、集会室、研修室、談話室、村民ギャラリーラウ



ンジ等に分けられます。建物正面には、樹齢二百五十年と三百年のヒバの原木二本(直径一メートル、長さ十九・四五メートル)が、飾り柱として立てられるなど、「青森ヒバの殿堂」にふさわしい建物です。

タワーのつべんには、展望台が造られ、唐川城跡や十三湖、遠く岩木山まで望むことができます。

一方、新庁舎は、総工費三億二千四百四十四万円。木造平屋建てで面積は一千八百八十九・〇三平方メートル。高い天井に木の目の美しい集成材のほりが並び、さわやかな木の香が漂っています。

村長室、助役室、会議室の壁は、ヒバ板で仕上げられており、落ちついた雰囲気をもち出ししています。



県内外の市町村から毎日のように視察団が訪れています。

歴史がとりもつ縁

北海道・上ノ国と姉妹都市へ

≡ 九月締結で合意 ≡

北海道松山郡上ノ国町から本村に、姉妹都市締結のラブコールが届き、両町村の議会議員や町幹部の交流が続いています。

約七十年前前に安東氏が移り住み、本村と盛んな交流があったとされる上ノ国町では、開基八百年を機に、海峡を越えた文化交流を復活させよう——と、姉妹都市の締結を申し入れてきました。

市締結の話が持ち掛けられたのは今年四月二十日、森定蔵町長、古館常弥町議会議長ら町幹部が本村を訪れ、三重町長に意向を伝えました。その後も何回か交流があり、六月十一日には同町の観光協会、商工会、文化財保護審議会委員らが本村を訪れ、唐川城跡、福島城跡、山王坊遺跡など安東氏ゆかりの史跡巡りをして、親交を深めました。

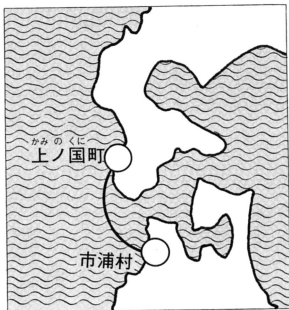
これを受けて本村でも、両町村の相互交流を図ることを決め、六月十六日から二日間の日程で村議会議員団が上ノ国町を訪問して、姉妹都市締結の話し合いをしました。さらに七月十四、十五日には、上ノ国町議会議員や助役ら一行十八人が本村を訪れ、安東氏ゆかりの史跡巡りや農水産加工センター、津軽テグニカなど、村内の施設を視察

しました。上ノ国町は、奥州藤原氏の滅亡から逃れた一族が津軽海峡を渡って開拓した町で、渡島半島の西南、檜山支庁管内の最南端に位置し、北は江差町・厚沢部町に、東は松前町・福島町に隣接し、南は渡島半島の分水嶺を境に、木古内町・知内町に隣接しています。安東氏との直接のかかわりは、建保五年（一一七一年）ごろ、安東克季（へかすえ）が蝦夷（えぞ）管領になったときにさかのぼります。克季は渡島半島の沿岸に蝦夷嶋十二館と呼ばれる館を築き、それぞれに代官を置きました。その十二番目の館が上ノ国

町にあり、その館跡からは本村と同じような安東氏の海上貿易の繁栄を示す中国製陶磁器、中国銭などが出土しています。嘉吉三年（一四四〇年）に安東盛季が南部氏との戦いに敗れ、本拠地唐川城を離れたあとは、安東一族の半数が小泊村の築崎城を経て松前に渡り、長く上ノ国町付近で威勢を誇ったといわれています。両町村の幹部や町・村議会議員相互の訪問交流で、姉妹都市締結への基本路線は合意に達したのと思われ、今後は九月議会後の締結に向けて具体的な話し合いが行われる予定です。

町にあり、その館跡からは本村と同じような安東氏の海上貿易の繁栄を示す中国製陶磁器、中国銭などが出土しています。嘉吉三年（一四四〇年）に安東盛季が南部氏との戦いに敗れ、本拠地唐川城を離れたあとは、安東一族の半数が小泊村の築崎城を経て松前に渡り、長く上ノ国町付近で威勢を誇ったといわれています。両町村の幹部や町・村議会議員相互の訪問交流で、姉妹都市締結への基本路線は合意に達したのと思われ、今後は九月議会後の締結に向けて具体的な話し合いが行われる予定です。

上ノ国町議会議員一行も本村を訪れました。



市浦村を少しも理解しようと説明を受ける上ノ国町民



福島城跡展望台で記念写真



「地形的にはよく似ている…」と笑う上ノ国町民



葛西教育次長の案内で村内を視察する上ノ国町民

しています

役場の電話は
62-2111番です

七月一日付けて、役場職員
の人事異動が発令されました
が、各課の職員がどんな仕事を
をしているか、その主な事務
分相をお知らせします。

役場という行政組織は、地
域全体の安全と、住民一人一人
の健康、福祉など、市民一人一
人の幸せを求めて、少ない予算で

大きな効果を上げていくとい
う使命を持っています。

では、それを進めていく課程の中
では、それぞれ住民の間にも
意識の違いや、価値感の違い
など、様々な考え方の違いも
出てきます。

村では、事務の合理化と人
事管理の適正化に努め、おた
がいの立場を尊重しあえる行
政を進めています。

仕事についての相談、要望、
意見、わからない点などたく
さんあると思いますが、気軽
に相談してください。(電話
については、各課の内線を一
利用ください。)

気軽にどうぞ



いろいろな相談にも応じています。
気軽においでください。(役場窓口)

職氏名	主な仕事
主任主査 浜田 和幸	成人病、母子保健、献血等保健計画作成及び推進、予防接種、健康管理
主任主査 高田 正嗣	国保制度の趣旨普及、老人保健、国保運営協議会、国保特別会計
主事 葛西 達也	児童福祉及び保育所入所、防犯、保護向き、日本、共同養老金、重度心身障害者、母子家庭医療費、出稼及び失業保険
保健師 鎌田 明美	駐在保健師
保健師 野宮 富子	派遣保健師

▶内保育所 62-3136

所長心得	保育長事務
大沢ふみ子	
主任保育 山内 洋子	保育主任
保育 栗 優子	保育
三浦つや子	保育
保育 長谷川浩子	保育
給食師 三上キヨエ	給食
用務員 三和ハツイ	保育所用務

▶胎元保育所 62-2344

所長心得	保育所事務
長利 友子	保育所事務
主任保育 桑野 尚子	保育主任
給食師兼 用務員 三和チヨエ	給食、保育所用務

職氏名	主な仕事
主任主査 佐藤 悦明	出張所で取扱う事務、胎元財政課
用務員 橋引 智恵	出張所用務

▶十三出張所 62-3101

所長心得	出張所で取扱う事務、十三財政課
三和 徳衛	産区
用務員 相川 由子	出張所用務

■企画財政課 内線 (17.18.19番)

課長	課内総括、企業誘致、地域振興、半島振興、予算編成、財政運営
高松 隆三	
課長補佐 桑野 邦夫	過疎振興及び山村振興計画、木材工業センター管理、統計調査、ふるさとづくり計画、広域調整計画、村づくり長期総合計画、広報広聴、土地の適正利用
係長 奈良 典昭	予算編成、財政運営、地方交付税、村債、地方財政状況調査
主査 本莊 博	普通交付税及び特別交付税、公営施設調査、財政金庫、山村モザイク事業

■民生課 内線 (31.32.33.34.71番)

課長	課内総括、施設(保育所、診療所)等連絡調整
嶋海 尚志	
課長補佐 三和 省勝	福祉関係、生活保護、民生委員、児童委員、戦没者、軍人恩給、社会福祉団体及び母子福祉
係長 齊藤 修一	国民健康保険、国民健康保険運営協議会、国保制度の趣旨普及、老人保健、健康管理
係長 石岡 芳幸	国民年金、児童手当、特別児童扶養手当

■総務課 内線 (10.11.12.13.14.15.16.20.21.49番)

職氏名	主な仕事
課長 三上 常一	庁内総合調整、課内総括、人事管理、法制、公印管理、運営
課長補佐 山内 守栄	職員管理、法制課務、公告、職員研修、制訓調整、文書管理、行政相談、町内会、秘書
係長 奈良 勝義	村有財産管理、物品管理、公務災害、事務機器保守管理、車輛運行管理、交通安全、運営
主事補 有馬 敏	職員共済、給与、自衛官募集、文書圖書の整理保存、消費行政
主任主査 木村マリ子	窓口事務(戸籍、住民基本台帳、人口移動、印鑑登録、国民健康保険並びに年金等資格喪失、母子手帳交付)
主任主査 黒川 泰子	窓口事務(戸籍、住民票謄抄本交付、その証明、住民登録、外人登録、人口動態、窓口手数料徴収手続)
交換手 佐々木礼子	電話交換手、広報無線放送、埋火器認可交付、軽自動車検査交付、交通安全共済、文書收受、窓口事務
係長 秋元 収	税務事務、字費、税務統計、滞納整理、納税貯蓄組合、家庭課税台帳整理、固定資産評価審査委員会
主任主査 山崎 良子	国民健康保険税、収納事務、督促、補助金 督促。
主任主査 岡本 雷子	村民民税、法人税、たばこ消費税、電気税、特別土地保有税、木材引取税、自動車重量税
主査 越谷 悟	固定資産税、債権資産の評価、土地課税台帳整理、家賃台帳整理
運転手 板田合多郎	車輛運転、車輛整備管理
運転手 武田 義光	車輛運転
運転手 川口 秀英	車輛運転
用務員 岩間定四郎	本庁用務
用務員 渡辺ゆき子	本庁用務

職氏名	主な仕事
-----	------

■出納室 内線(64.65.66番)

出納室長 鳴海 文保	出納会計事務
主任主査 榎方ゆう子	出納会計事務

■議会 内線(41.42番)

主査 鎌田 和廣	議会事務全般
-------------	--------

■教育委員会 62-3751

次長 葛西安太郎	総務、総務、海洋センター事務
課長補佐 白川 隆治	コミュニティセンター管理、文化財保護、村史編纂委員会、山村広場、社会教育
係長 成田 義正	学校教育
主査 三浦美智男	生涯教育、海洋センター管理事務、図書室管理
用務員 奈良ふみ子	教育委員会用務
用務員 山田 春美	市浦中学校用務
用務員 工藤 良子	相内小学校用務
用務員 山田 いつ	脇元小学校用務
用務員 成田 勝由	十三小学校用務
用務員 奈良ハルエ	太田小学校用務
給食婦 佐食藤 紗 浅い 葉子	市浦中学校給食
給食婦 栢谷マノエ 葛西くみ子	相内小学校給食
給食婦 工藤 恭子	脇元小学校給食

職氏名	主な仕事
-----	------

■経済課 内線(25.26.27.28) 29.30番

課長 松江 幸勝	課内総括、農業委員会、農業振興推進委員会、漁業振興推進委員会、農業共済事業運営協議会
課長補佐 安保 隆吉	畜産団体の指導、県営草地開発、団体営草地開発事業、団体営草地開発奨励事業、畜産振興公社
係長 長利 勝雄	畑作振興、農業構造改善、水田農業確立対策、米穀生産流通、林業の事業、赤幹集落センター、国有林野活用
係長 竹谷 裕治	水産振興、漁業権、漁業災害、商工振興、計量、鋳業権出願、観光資源の開発及び宣伝
主事補 柳引 松三	畜産庶務、家畜衛生、使用料等測定及び徴収、畜産統計、肥育家牛導入
主幹 三和 貞三	家畜共済、任意共済、農業共済事業庶務、農作物共済、病害虫防止事業
獣医師 中城 道男	家畜診療業務

▶育成センター 62-2072

所長 下沢 徳三	育成センター事務、人工受精、家畜改良増殖
運転手 三浦 俊雄 岡本 隆雄	機械作業の実施、維持管理

▶農業委員会

主任主査 奈良 孝博	農業委員会事務
---------------	---------

■建設課 内線(22.23.24番)

課長 竹谷 博則	課内総括、工事の企画、地籍調査委員会、村営住宅供給委員会、用地買収、工事入札契約
課長補佐 中居 松男	用地買収、公営住宅、中の島公園
係長 古川 徹	建築、都市計画、漁港、簡易水道、安東文化
係長 戸 俊一	土木、道路、河川、除雪、農業土木、災害復旧、かん排事業、ため池整備
主査 山田 達二	国土調査、登記、農道整備、農業土木
技師補 成田 勲	簡易水道維持管理、メーター検針、料金徴収事務、水道工事の検査

こんな仕事を



収入役・成田義衛



村長・三重 貢



教育長・木村義光



助役・工藤誠一郎

職氏名	主な仕事
-----	------

▶十三保育所 62-2038

所長 高橋 浩子	保育所事務
主任係長 三上 久恵	保育主任
係長 松嶋 悦子	保育
係長 相川みどり	保育
調理員 島崎 サチ	給食

▶診療所 62-2009

診療所長 菅川 晃	内科診療
歯科医師 浅理 克巳	歯科診療
事務長心得 嶋海	診療所事務総括、X線撮影業務
看護婦 藤田 リツ	看護
看護婦 今 祐子	看護
看護婦 浜田 郁子	看護
看護婦見習 今 ハツエ	看護
看護婦見習 亀田恵美子	看護

人事異動

七月一日付けて、役場職員の人事異動が行われました。
()は旧所属です。

▶出納室長(総務課課長補佐 兼係長) 鳴海文保 ▶延設課長補佐(総務課課長補佐) 中居松男 ▶総務課課長補佐(総務課課長補佐) 秋元収 ▶経済課課長補佐(民生課課長補佐) 竹谷裕治 ▶教育委員会議長補佐(兼) 松嶋悦子 ▶民生課課長補佐(民生課課長補佐) 三和貞三 ▶民生活健管理係長 石岡芳幸 ▶民生課健康管理係長(経済課水産課係長) 齊藤修一 ▶総務課水産課係長(経済課農業共済係) 越谷悟

▼総務課長補佐兼係長(教育委員会課長補佐) 兼係長(教育委員会) 社教係長 成田義正 ▶民生課主任(兼) 生活委員会) 社教係 葛西生彦 ▶活性化センター勤務(市浦中用務員) 小笠原俊治 ▶市浦中給食婦(相内保育所給食婦) 三和葉子 ▶相内保育所給食婦(市浦中給食婦) 三上キョウコ

▼建設課長補佐兼係長(内守室) 教育委員事務局係長(教育委員会) 社教係長 成田義正 ▶民生課主任(兼) 生活委員会) 社教係 葛西生彦 ▶活性化センター勤務(市浦中用務員) 小笠原俊治 ▶市浦中給食婦(相内保育所給食婦) 三和葉子 ▶相内保育所給食婦(市浦中給食婦) 三上キョウコ

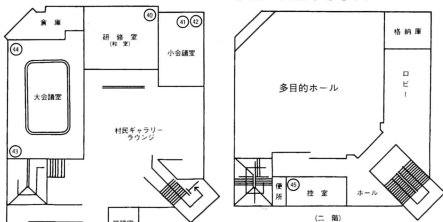
行政にあなたの声を

— 62局2111番 —

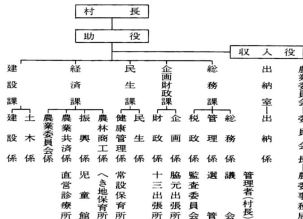
お電話ください!!

七月一日付で、職員の人事異動がありました。職員と機の配置、内線電話番号も決まりましたのでお知らせします。

○内の数字は、内線電話番号です。用事のある職員には、内線番号でご指名ください。



行政機構図



教育委員会—教育長—教委事務局 小学校
 農薬委員会—委員長—農委事務局
 出納室—出納係
 総務課—総務係
 管理課—管理係
 相内財産区
 十三財産区

**村づくりの主役は
あなただです**

地域社会は、そこに住む人々たちにとって生まれ、育ち、生きる生活の場であり、また、そこで暮らす人々たちには、明日を夢みる希望があり、地域の個性を主張しようとする豊かさがあります。「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へ、「合理性」よりも「感情」を求める時代になってきたいま、そこに住む人、働く人、活動する人々にはその地域は生きがいのある場、出れる場、満たすことのできる場、それのために、地域づくりは、その一人ひとりが行政にあなたの声をお寄せください。



星形ケビンオープン

快適な居住空間

予約殺到で満杯です

十三湖に浮かぶ中の島に建築中のケビンハウスが完成し、六月十八日オープンしました。

中の島の松林に囲まれたケビンハウスは、居ながらにして空を見られる「トップライト」や、中二階、掘りこたつなど、ユニークな設備を誇り、居住性は抜群です。

村では昭和五十九年から中の島アトリッジ構想を打ち出し、ゴーカート場やロー

ラスケート場、キャンプ場、公衆便所などを完成させ、供用しています。

ケビンハウスは、総ビ造りで、Aタイプ(二十五・六七九平方尺)の二種類八棟完成させました。

定員は四〜六人で、造り付けのベッドが備えられているほか、床にはカーペットが敷かれてゆったりとくつろげま

す。Bタイプの天井には、ガラスをはめ込んだ「トップライト」が付いており、掘りこたつに入りながら青空や星空を眺められます。

台所には、ナベやガスコンロ、食器一式、冷蔵庫も備えられ自炊も可能です。また、いつでも使えるシャワー(風呂)室、テレビ、扇風機など、至れり尽くせりのケビンハウスです。

オープン以来、予約が殺到し、八月下旬までは平日に少し空きがあるほかは満杯状態となっています。七月下旬には、ケビンハウスを利用した津軽半島一周、一泊二日のバスツアーも企画されるなど、ケビンハウスの人気は高まる一方です。

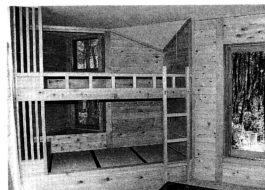
料金は四人で使用する場合一泊六千円(ただし、小学生以下は無料、一人増すごとに千円プラスとなります)。予約申し込みは、市浦村経済課・電話・0173 62211番。



A棟は、中二階がついておりオープンスペースの広がりもあります。



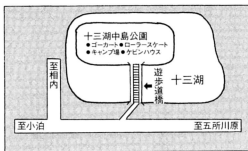
B棟は、居ながらにして星空が見られるトップライト付きです。



木製二段ベッドはヒバの香り木製二段ベッドはヒバの香り木製二段ベッドはヒバの香り木製二段ベッドはヒバの香り木製二段ベッドはヒバの香り木製二段ベッドはヒバの香り



いつでも使えるガステーブルで自炊も可能である。バス、トイレ、冷蔵庫、テレビ、掘りこたつ、扇風機など……快適さはバツグンです。



合格

おめでとぅ

第79回商工会

珠算検定試験

六月十一日午後一時から各小学校において、第79回全国商工会珠算検定試験が行なわれました。受験者数が五十一名、合格者は次のとおりです。

▼三級 沖谷祐一郎(浦田塾) 林崎孝幸、秋田谷こず恵、三浦和佳子(辻分珠算塾)

▼四級 浜田美和子(浦田塾) 秋月達淑(十三小) 葛西春香、山田雅史(辻分珠算塾)

▼五級 林崎真琴、木津谷恵、成田泰平、三和春香(辻分珠算塾)

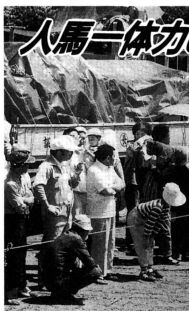
▼六級 相坂静代(浦田塾) 成田千夏子、太田真由美(辻分珠算塾)

▼七級 白川聖子、梶浦麻理子、豊島正樹(浦田塾) 秋田谷仁花、三和弘樹(辻分珠算塾)

▼八級 上野光代、松橋史枝(浦田塾) 武田一哉(辻分珠算塾)

▼九級 村上こずえ、白川友和、相川和哉(浦田塾)

▼十級 相川高昭、秋月加寿美



人馬一体力の入る大一番



相内・五月女范で 馬力大会

人馬一体で熱戦を繰り広げた東北馬力大会

十三湖畔に特設された。五月女沼馬場。で、七月十日、東北馬力大会。が開かれ、県内外から六十頭の馬が集まり、人馬一体の熱戦を繰り広げました。

第二回目を迎えたこの大会は、成田建設の成田長代さんから主催したもので、東北各地から六十頭の馬と、馬主や家族がかけつけたほか、村内外からは約三百人も参観者が集まりました。

夏の日差しをいっばいに受けたこの日、会場周辺には、「おでん」や「アイスクリーム」「わたあめ」「やきとり」などの店が出店し、大会を盛り上げました。

午前八時三十分から始まった大会では、三歳馬から五歳

馬以上にランクされた重さで馬力を競い合い、ヤマ場となる障害では、ストップウォッチを片手に力の入る大一番の連続、たずなを引く馬主や家族が一体となって障害を越えていました。

昨年からは市浦村で馬力大会を主催している成田さんは、「馬力大会を聞くことによって、三百人位の人が集まってくる村でも観光振興に力を入れて

いる時だけにそれなりのPRはできるんじゃないか。来年からは七月の第二日曜日。馬力の日に設定し、馬力のみなならず、人力大会や腕相撲大会なども行うなど、市浦のイベントの一つに位置づけた」と、意欲をみせています。



東北各地からは、専用トラックで馬が運び込まれました。

金木高校 海浜清掃に汗

きれいな浜をとりもどそう



全校生徒と教職員が総出でゴミ集めをしました。

公共の場である十三湖の清掃を通し、奉仕の精神を養う。

団体行動を通じて規律、協力
の精神を養う。県立金木
高等学校相内分校の生徒や教
職員が七月十八日、十三湖・
津波の塔付近を中心に、清掃
奉仕作業を行いました。

同校の期末テストが終わった後行われていたこのクリーン作戦は、十七年前から毎年続けられているもので、この日も全校生徒二十四人と教職員が総出でゴミ集めをしまし

た。この場所は、これまで婦人団体や子供会などでも清掃していますが、日本海からは次々流れつくごみで山となります。これから観光客や釣り人が多く訪れる場所だけに少しでもきれいにしよう——と、たっぷり二時間の清掃作業に汗を流しました。

集めたごみは、一カ所にまとめられ、村の清掃車がごみ捨て場に運びました。

夏の交通安全運動 7月21日～7月30日

あなたの自覚だけが頼みです

交通安全運動推進合同打合せ開く



1年間の交通安全運動の進め方を話し合った合同会議

子供と高齢者は交通事故がらむ
安全へつなく老いの手幼い手

昭和六十三年度の市町村交通安全運動推進合同打合せが七月十八日午後一時三十分から役場会議室で開かれ、村・金木警察署、交通安全協会、交通指導隊、交通安全協会の会員ら関係者三十人が出席しました。

会議に先立ち三重村長が「交通事故は、深刻な問題として対策に頭を悩まして

いる。特に死亡事故が発生している場所においては、道路環境や安全施設の不備が原因となっており、場合がある。今後、交通安全防止のために積極的に取り組んでゆくが、みんなでも交通事故が発生しないように注意しあうことが必要だ」とあいさつしました。

この後、六十三年度の交通安全対策に係る予算内容についての説明や年間スローガンの確認。一年間の運動の進め方を話し合いました。

六十三年度では、「広く村民に交通安全思想・交通道徳を普及徹底し、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故の防止を図り、安全で住みよい地域づくりを進めること」を目的に運動を展開することになりました。

運動の重点としては、◆家庭、職域、地域ぐるみによる飲酒・暴走運転の追放と、交通安全活動の推進。◆若年運転者による死亡等重大事故抑止対策の推進。◆歩行者、特に子供と高齢者、身体の不自由な人たちの保護活動の推進。◆二輪車（原付車を含む）、自転車（ヘルメット着用）の指導等事故防止対策の推進。◆正しい方法によりシートベルトの着用の推進、を掲げました。

この重点事項は、運転者・家庭・職域・地域・学校・保育所など、それぞれに分野において、実情に応じた実施計画を作成し実践してゆくことも確認し合いました。

さらに、七月二十一日から十日間にわたって展開される夏の交通安全運動への取り組みについて話し合いが行われ、参加した団体代表からは、期間中に行われる行事や、その方法等について述べられました。

夏の交通安全運動は、地域の交通安全意識の高揚と地域の連帯を高め、交通事故防止の徹底を図ることを目的とし、子供と高齢者、特に若年運転者による飲酒・暴走運転の追放。◆二輪車（原付車を含む）の交通安全防止。◆正しい方法によるシートベルト、ヘルメットの着用を重点事項に掲げています。この運動を効果的に進める

守ります ベルトに速度に車間距離



それぞれの立場で交通事故防止に努力することを確認し合いました。

ため、各機関、団体と連絡協調を図り、地域に応じた具体的な実施計画を策定し、住民の参加意識を高めることにしました。

期間中の主な実施事項として、◆街頭で交通安全指導を行う。◆第六回リレー式青空交通安全大会の開催。◆交通安全施設の点検整備。◆広報無線による事故防止の呼びかけ。◆交通安全家庭新聞の每户配布。◆交通安全防犯指導車による巡回指導などが計画されています。

特に、運転期間が子供たち夏が夏休みに入るほか、県内外からの観光客が増える時期であることから、一人ひとりが注意を払い、交通事故のな

安藤物産

安藤氏の先祖

中絶の傍流

(2)

▶ 2 ◀

まとめ

(1) 前号では、安倍安藤(奥)氏の逸い先



▲臨館学校編「日本歴史 上巻」明治8年 愛媛県重刊

榎春樹編「新撰日本歴史 卷之一上」明治21年訂正再版

新人物往來社発行「別冊歴史読本」神武天皇の謎」(歴史教科書にある神武天皇のイメージ) 中村紀久二氏所収



祖を安日彦と見做すこと(2) 安日彦は弟神長髓彦といっしよになつて、神武天皇が日本の中央に進出して来たことに頑強に反抗したこと(3)十数年間戦つた結果、天皇軍に敗れた安日彦は、津輕に逃げて来たこと(4)津輕に逃れた安日彦は、すでに津輕に勢力をもつていた中央から「ニミシ」と呼ばれる先住民族と混血したと等について述べたつもりです。

この戦い

安日彦たちが、中央の舞台で神武天皇と争つて交えて戦つた時代を考古学という学問に当てはめて考えてみますと、日本全国から出する縄文土器を使用して、という時代、それも晩期(亀ヶ岡式土器の時代)の終わりに頃に当たるようです。縄文人の世界です。

そこへ、進んだ文化(稲

作文化・金属器文化)を持った弥生人が進出してきます。そして、先住民である縄文人が次第にだいに弥生人に追われて、北へへと移動を開始したといわれています。ですから、その時代には津輕には縄文人がたかさんに住んでたこととみる事ができます。学者間では、まだ縄文人がエミシと同じ民族であつたかどうかということの説はないようですが、なんとなく、安日彦一族と神武天皇との戦いが、縄文人と弥生人との戦いを奈良時代の歴史家たちが臆気ながらわかつていて、神々の世界として作り上げた戦いのように思われてなりません。

安日彦たちの生活

さて、安日彦一族が津輕に逃れてきてどんな生活をしていたものでしょうか。安倍安藤(奥)氏に関する系図は、たくさんに遺されていますけれども、残念ながら何も書かれていません。たぶん、縄文人と同じように、海や山や湖や川へ行って、蝦夷弓や短弓(「のやじり、骨のやじり」毒物)銃などを使って鳥や鹿などの鳥獣や海獣や

魚類をとったり、木の実や山菜を採集したりしたものでしょう。

また、十数年間にわたる戦いから、敵方の文化にも接触したので、すから、稲作も身につけていたものと思われまふ。製鉄や造船の技術も体得していたかも知れません。

さらに、安日彦一族が縄文の世界であつたと想像すれば、縄文人と種族を同じくする民族であつたことも考えられないことでもあります。

子孫繁栄

安日彦が津輕に逃れてきて、先住民の蝦夷(縄文人とみなして)と混血した、蝦夷の酋長となつたといひます。これによつて安日彦一族の血が蝦夷に強く伝えられていきます。ある学者の発表によりますと、多血なほど美人が生まれるといひます。津輕美人もこの源を發しているのではないのでしょうか。もちろん、その後の移住者によつての混血もあつたことではす。

「安日」をアイヌ語で「アッピ」といい、「火」の意味でいるそうです。火は人間の生活文化にとつて、とても重要な意味を持つことはいふまでもありません。また、「火」は「日」に通ずるものと強く関係を持つた民族だと思われまふ。さらに拡大して考えますと、火は製鉄にも重要なものであります。津輕地方の製鉄(砂鉄利用)にも深くかかわつた民族でもあつたと想像されます。

安日彦はたつたひり、で津輕に逃げて来たものではありませぬ。一族郎党を引率した大集団と考えなければならぬでしょう。子孫がたくさんに蝦夷社会に繁栄したものと考えられます。

挿絵について

新人物往來社発行の「別冊歴史読本」の中村紀久二氏の論文に所収されている絵図です。榎春樹編「新撰日本歴史巻之一上」の二人の降参者は「安日彦」長髓彦だとは書かれていませんが、「アイヌ」の容貌が想像されるではありませんか。今号は徹底的に想像で書いてみました。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



工藤助役に手渡す
伊藤さんと工藤さん

善意ありがとう

相内地区の伊藤き江さんと工藤キアさんが、このほど役場を訪れ、恵まれぬ人たちに少しでも役立ててほしいと一万円寄付しました。このお金は、相内地区の「百萬遍講」中心での本願金の一部です。

「サマージャンボ宝くじ」 (予約制) 申込受付中

「サマージャンボ宝くじ」(市町村振興宝くじの賞金は、1等6千万円で、前後賞とあわせて9千万円、さらに、次の特別賞が用意されています。

高級外車も買えるデラックス・カー賞(1千万円) 260本
好きな車を買えるファミリーカー賞(2百万円) 5,200本
(26ユニットの場合)

この宝くじの収益金は、全国の市町村の災害対策と明るく住みよい街づくり等に使われます。

◎予約申込期間

7月15日(金)～7月25日(月)

(当日消印有効)

◎予約申込先

①全国の宝くじ売場で「予約券」交付中

②官製往復ハガキを使って〒100 東京都中央郵便局留置第一勧業銀行宝くじ部へ申込(往復ハガキの表面に申込先、申込人の郵便番号、住所、氏名を記入し、横に「宝くじ」と赤色で書き、四角で囲んでください。裏面に「サマージャンボ」とだけ書いて下さい。返信ハガキの表面には申込人の郵便番号、住所、氏名を記入してください。)

◎「予約券」ハガキ 1枚で30枚まで予約できます。

老人精神衛生相談のおしらせ

五所川原保健所では、毎月1回、精神科の専門医による無料相談を実施しております。

物忘れがひどい、夜ねむれない、

行先がわからなくなる、帰りがわからなくなる等の症状のある方や家族の方は、気軽にご相談ください。

記

1.相談日

毎月第2火曜日 午後1:00～

(受付時間 午後1:00～2:00)

2.場 所

五所川原保健所

3.担当医

精神科嘱託医 布施清一先生

4.その他

必要により①診察②血圧測定
※相談を受ける方は、事前に電話連絡をしてください。
五所川原保健所
電話 0173-34-2108-9

密航の発見、通報にご協力を!! ～おかしと思ったら、すぐ110番～ 郷土を守るために

青森県は、三方が海に囲まれていることから、これまでに多くの密航事件が発生しています。

最近の密航事例をみると、事前に海岸の地形とか目標となる灯台や道路事情、交通の便などを詳しく調べたうえで組織的・計画的に敢行されているのが実態です。このため警察だけで密航者を発見して検挙することは益々困難になってきています。

そこで私達の町や村の秩序を守るためあやしい船や人の発見、通報にご協力をお願いいたします。

〈あやしい船〉

- 暗く灯けのない海岸に近づこうとしている舟やゴムボート。
- 夜間、灯火をつけないで航行している船。

- 水面下すれすれをクジラのように進む物体(半潜艇)?
- 外見は、日本漁船に似ているが、エンジン音が異なり、船足が異常に早く、しかも漁具を備えていない船。
- 漁業区域周辺にウロウロしている船で、地元漁船が近づくと離れる船。

〈あやしい人〉

- 暗い海岸で石をたたいている人又は、懐中電灯を点滅させて回図を送っている人。
- 海岸付近の岩影や草むら、無人駅に隠れている人。
- 地元の人なら誰でも知っている地名や駅への道順を尋ねる人。
- 夕暮れ時、海岸に向う釣り人風でも、観光客風でもない見知らぬ人。
- 着衣や言葉遣いなどが日本人と違う人。
- 景勝地でもないのに写真を撮り何枚も撮ったりスケッチしている人。

金木警察署

領収書や契約書と印紙税

私たちが毎日の生活のなかで、作ったりもったりする文書のなかには、領収書や売買契約書などのように、印紙税がかかるものがあります。

印紙税は、印紙税がかかる文書を作った人が、その文書に定められた額の収入印紙を貼り、消印して納付する税金です。

契約書などには、忘れずに収入印紙を貼りましょう。

詳しくは、最寄りの税務相談室や税務署にお尋ねください。



公衆電話は定期的に清掃されておりまして、みんなできれいに利用しましょう。
貼紙を貼ったり、通話の目的以外で入る事は禁じられています。
故障の際は、一二三番へご連絡ください。



きれいな街
きれいな
公衆電話。



・食中毒を防ぐチェックポイント・ 台所を点検し 調理と保存に工夫しよう

高温多湿な日本の夏は、食中毒が発生しやすい季節です。集団で病名なのでたいしたことはないと考えがちですが、集団で発生したり、あるいは種類によっては短時間で死亡するケースもある恐ろしい病気なのです。あなたのご家庭の台所や食生活は大丈夫ですか？ この機会に安全の二か所を確認してみましょう。

食中毒といふと、仕出し飯、旅館、ホテル、あるいは修学旅行や結婚式などでの集団食中毒を連想しがちですが、食中毒が発生する施設について見ると、飲食店に次いで多いのが、実は一般の家庭内となる細菌がびびるに部品のよい高温多湿の七、八九月は、台所を預かる主婦にとっては、まさに要注意の季節です。とりわけ気を付けたいのは魚介類です。夏に、日本の近海でとれた魚には、たいへい腸炎ビブリオの細菌がついて

いるといつても過言ではありません。調理するだけでも過言ではありません。

食品の取り扱い 三原則

家族がそろって舌鼓をうつ楽しめるべし。食卓が一瞬にまわって食中毒の悪魔にしのびこまれてしまいます。食品の取り扱いについては、ぜひ次の三つの原則を守りましょう。

清潔

調理を始める前には、手をよく洗います。食器、まな板、ふきんなどの調理器具は、よく洗って熱湯で消毒を

迅速

食品を買ったら、調理するだけ早く、手際よく調理することです。

加熱と冷却

細菌は熱に弱く、また食品を〇度以下に冷蔵あるいは冷凍してしまえば、細菌は増殖しにくくなります。

迅速

調理のすんだ食品は、あとからつけた細菌によって絶好の栄養分となりますので、食べ残した料理は食卓に置いたままにしないで、ときに捨てることも食中毒予防のポイントです。

迅速

細菌は熱に弱く、また食品を〇度以下に冷蔵あるいは冷凍してしまえば、細菌は増殖しにくくなります。



佐藤 寿恵さん
(相内・18歳)

施設利用に関心を

村ではいま、地域の恵まれた資源や歴史を生かした観光開発に力を入れています。十三湖中の島公園には、ゴーカート場やローラースケート場、キャンプ場やケビンハウスなどが整備されているほか、歴史民俗資料の展示やレストラン、体験実習室などを兼ね備えた「活性化センター」もオーブンする予定でいます。相内地区に賦存する歴史的

資源を活用した観光施設や史跡ルートを着々と整備され「安東の里」としてのイメージも出てきました。しかし、安東氏の歴史ひとつとつてみても、もっと勉強する必要があるし、整備されてゆく施設を効率的に利用し、活かしてゆくことが、今後の課題だと思われ、その具体的な手立ても必要ではないでしょうか。

- 萬谷 ゆり子 (臨元)
- 和泉 眞純 (横浜)
- 加納 日出子 (十三)
- 成田 光広 (中里)
- 葛西 俊吉 (臨元)
- 竹谷 知佳 (磯松)
- 松橋 裕志 (臨元)
- 奈良 知明 (太田)
- 伊南 謙 (磯松)
- 伊南 彩未 (太田)
- 奈良 陽子 (臨元)
- 萬川 浩平 (相内)
- 白川 亮 (磯松)
- 三和 勇斗 (相内)
- 佐藤 翔太 (相内)
- 中井 亮 (十三)
- 演田 芽里 (十三)
- 葛西 俊吉 (臨元)
- 竹谷 知佳 (磯松)
- 松橋 裕志 (臨元)
- 奈良 知明 (太田)

- 秋田谷 タケ (桂川)
- 有馬 長一 (十三)
- 萬谷 定雄 (相内)
- 葛谷 ハナヨ (臨元)
- 新岡 ナヨ (磯松)
- 葛西 ヨス (臨元)
- 奈良 キヨ (太田)
- 吉田 善一 (相内)
- 三和 いま (相内)
- 吉田 トメ (相内)

おくやみ

- 山崎 正和 (茨城)
- 梶浦 美雪 (十三)
- 奈良 家人 (相内)
- 小館 久子 (青森)
- 栗川 陽子 (東京)
- 栗村 達也 (東京)
- 猿賀 清治 (相内)
- 今 千秋 (金木)
- 三浦 康子 (相内)
- 沼畑 伸光 (南部)
- 木村 寿重子 (相内)
- 三和 一重子 (十三)
- 安村 真由美 (宮城)
- 丸山 路正 (太田)
- 石戸 谷美枝子 (金木)
- 渡邊 力 (東京)
- 久保田 透 (十三)
- 佐藤 純悦 (相内)
- 佐々木 恵子 (北海道)
- 佐藤 俊彦 (相内)
- 松田 和美 (大阪)

戸籍の窓



お誕生

- 田中 未久 (磯松)
- 伊南 謙 (磯松)
- 伊南 彩未 (太田)
- 奈良 陽子 (臨元)
- 萬川 浩平 (相内)
- 白川 亮 (磯松)
- 三和 勇斗 (相内)
- 佐藤 翔太 (相内)
- 中井 亮 (十三)
- 演田 芽里 (十三)
- 葛西 俊吉 (臨元)
- 竹谷 知佳 (磯松)
- 松橋 裕志 (臨元)
- 奈良 知明 (太田)